

農業大学校 南信農業研究科の卒業式を挙（Vol. 16 令和7年3月）

南信農業試験場には県の農業大学校南信農業実科・研究科が併設されています。実科では果樹であるなし・かき栽培の基礎的な知識と技術を学び、研究科では専攻研究による高度で先進的な知識と技術の習得に取り組み、卒業生は地域農業の担い手として活躍しています。

本年度は、3月10日に農業大学校南信農業研究科の卒業式を挙し、ご来賓や保護者の皆様が見守るなか、研究科生3名に卒業証書が授与され、3名はそれぞれの目標を胸に新たな道を歩み始めました。

卒業を迎えるにあたり、2月26日には専攻研究の成果を発表する「専攻研究発表会」を試験場内で開催しました。3名の研究科生それぞれの専攻研究のテーマは「日本なし『南水』における日焼け軽減対策の検討」、「新品種『天空のしずく』の適期収穫に向けた着果位置と熟度の関係」、「低樹高栽培『市田柿』の局所施肥による肥料削減技術の検討」と産地で問題となっている課題をテーマに掲げていました。

発表会では、試験場研究職員と共に行った試験設計から始まり、ほ場試験の実施、調査手法の検討、成績の取りまとめまで1年かけて取り組んできた成果が発表されました。まとめには就農後にも活かしたい知識や技術が盛り込まれ、いずれも見事な発表でした。

卒業生の皆さん、今後のご活躍に期待しています！



卒業証書の授与



専攻研究の成果発表会